





この物語は

〇某家次期当主

「C」とその許婚「S」の

日々の性行為の

記録である――。



「S魔代ちゃん、S魔代ちゃん！」

今日はもう遅いから

泊まって行かんね？」

「●魔、また？

今日も回目よ？」

「お泊りは一週間に一回って
約束じゃない。」

「へげっ♪ よかぶさい、よかぶさい。

それにぼっくん、

たまっとりましゅー！

たまきんが重かどぶさい♡」



「今夜もたっぷりと
遊ぶんだぞ♡♡」

その御曹司の男根は
それはそれは巨根で、
勃起せば一尺は
優に超えていた。



「聖えてクリ、
しやぶってクリ、
ぽっくんお部屋まで
ガマン出来ま千円♡」

「…こんな所で…
しようがないわね…
一回だけだからね！」

その巨大亀の迫力は
雌に対し有無を言わせぬ
貫禄があった。



「へりやツ!!!」

S麻代ちゃん、

ぽつくんの栄養たっぷり

ちんこ汁飲んでクリクリ♪」

「ブツ
!!!?」

と
ユ

ク

!!!



「ぶ〜。ほこくん『ユフミンユフー』を
一日もがまんしとったとでしゆなら、
チンポ☆キツシュ♡されただけで
射精だしてしまっただとぶあいい♡
ゆるしてクリクリ♡」



「.....」

「...の嫁代ちゃん、
怒らぬとこなわ。」

「怒らないわよ。
『ねえ...』」

「…………はい、おしまい。」


外ではごうまでー！

「。……は部屋に行ってからよ……………」



「服が精子まみれで汚れるから、
いつもの服に着替えたいわ。」

「エッチする用の服にね……………」
♥



ここは〇某家敷地内…。
その御曹司は
広大な敷地内の一角に
秘密のヤリ部屋を設けていた。

「服なんてどうでもよかー!

早く挿入れたか〜ッ!!!

S 麻代ちゃんのお股に

早くちんこ挿入れたかっしゅ!!!!」

カッ!

「もう、待ってよー!

すぐ着替え終わるからー!

………はい、お待たせ。」



「痛か〜！」

ちんこが痛か〜ッ!!!

早く〜! 早くS麻代ちゃんの

お股♀とエッチンコでガッチンコ。

したかどぶあい!!!!!!」

「もう、●魔つたら〜!」

エッチ丸出したと

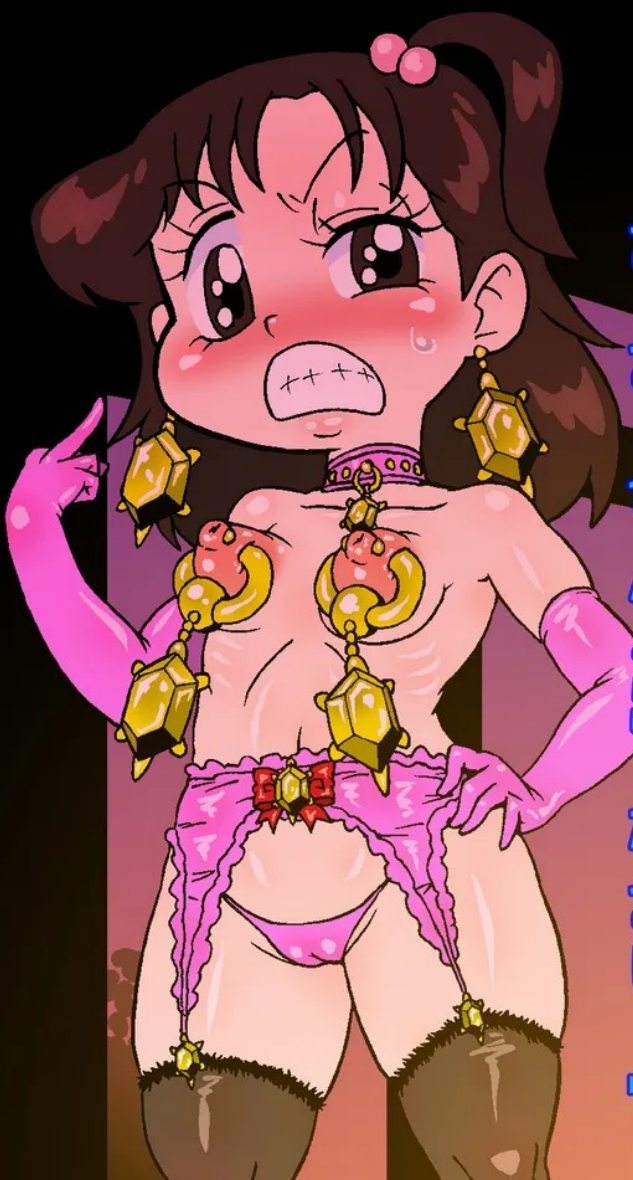
女の子に嫌われるわよ?」



「へげけ。
S麻代ちゃんさえおれば
ぽつくん他に誰もいらん
でしゅぶあーいー」

「もう、バカー！

『だいすきんたま』したげるから
そつれとちんぽっ出しなさいー」



「ペロペロはせうよな!!!
それよりの嫁代ちゃんのお腹...
おまた♀ちゃん!!!
おまた♀ちゃん!!!。せせとクリ!!!」

ズモモモ...

「ダメよー!
こつこつするのは
順序があるんだから。」



「あー」

ちんこキミッ!♥で

おちんちんキレイに

したらお股♀エッチ♂。

させてあげるからー」

「へきぞうっしゅ!!!

やったぶあいら♪

S 府代ちゃんのお股!

おまた早ちゃんっ♂!!!!





「ピリッ!!!」
射撃のしほ!!!」

ド

ド

「んはっ♪
射撃たッ♪
」

ピ
ウウウッ!!!

「早いわね…、
今日は特に。
それにまだ
こんな
射精るの？」

「へけっ！

S麻代ちゃんの
お股♀のこと
考えとつたら
辛抱できんかった
とでしゅ♪」

ド

「お股♀の毛を
かーん、こっぴや
お股♀の毛は
♡♡♡♡♡」



「お尻♪」

お麻代ちゃんの
お尻にちんこ。
おまた☆ちんこ
の時間ぶさい♡」

「体力はないクセに
こっちの方は
強いんだから…。
でもそっがいい
ト「ロなんだけど。」



「へっや？」

なんか言うたと
でしゅか？」

「別に！」

ちんこだけは一人前
つて言ったのよ！

ちんこだけはね…。」



「もうー！」

「ほとんど毎日…！」

「赤ちゃん出来ても」

「知らないわよ！」

「へけ！」

「麻代ちゃんは」

「バカぶあいよ！」

「結婚もしとらんのに」

「赤ちゃんなんか」

「出来るわけなか！」

「…あんだ本当にバカね…。」

「まあ十月十日後」

「楽しみにしとくといいわー！」





そして十月十日後。

「久しぶりね●魔…。」

「元気してたかしら?」

「へきや〜っしほ♪
S麻代ちゃん、
半年もどこへ?
ぽっくんさびし
かったとぶあ…。」





「へぎや〜っしゅ!!!!
しばらく見んど
思ったら
なんね
そのお腹!!」

子を身ごもっていた

おめでとう!

「何ってあんたどこの子供に
決まってるんじゃない！」

「な……
なんでじゃん……」

「もうすぐお生まれに
なられますしや。

お歳がお歳ですし

表立って病院で……

と言う訳にも参りませんので

この屋敷でござ出産なされることにな
ったのです。」

「そ……そんなバナナ……」



before → after

「おめでとございます旦那様。
見事世継ぎを孕ませておいでです。
これで〇某家も安泰ですじゃ。」

「おお、でかしたぞ●魔！」



「だから責任取ってよね♪」

「しぎやび〜!!!!
そんなバナナ!
なんて骨体!
ぽっくんまだ
女遊びしたかと
ぶあい!!!!」





完













